

# きりん G 概論だより

## わがまち紹介

### 天下分け目の天王山・大山崎

#### 宝積寺(宝寺)

山城国(京都府)と摂津国(大阪府)の境に位置し、古くから交通・軍事上の要地であった天王山(270m)の南側山腹にあり、寺伝では神皇元年(724年)、聖武天皇の勅願により行基が建立したと伝える。

行基は奈良時代に架橋・灌漑などの社会事業を行い、多くの寺を建てた僧です。

奈良時代、天武天皇の第一皇子は、夢に出てきた龍神から「打出」と「小櫃」をもらったそうです。これで左の手の平を叩けば果報がもたらされるといいます。

それから数日後に、皇子は天皇の位を譲り受け、聖武天皇となった。天皇は行基に命じ、景勝地「山崎」に小櫃を奉納する寺を建立したが、宝寺とも呼ばれる「宝積寺」だそうです。

山門の前に、タラシヨウの木があり、青い落ち葉の葉の裏に爪で字を書くことや、がて黒く浮き上がる。葉書の本なども呼ばれ

郵便局のシンボルツリーとなっている。

#### 陶板画



天王山ハイキング・コース5カ所に6枚設置しています。

このコースは「秀吉の道」と名付けられ、天王山合戦をはじめ秀吉の天下取りの様子を6枚の陶板画で説明しています。

#### 三社宮

天照大神、日讀大神、蛭子神、天照大神は、日本神話に登場する神(人格神)である。「延喜式」では自然神として神社などに祀られた場合の「天照」は「あまて」と称されている。日讀尊(つきよみのみや)は大照大御神の弟神であります。

蛭子神は、古くは海の神として豊漁や航海安全、交易などに靈験ありとされていた。今日では商工農業などあらゆる産業繁栄の守護神とされている。

延喜式内社で、訓地方で最も古い神社です。

#### 酒解神社

天王山の頂上近くに鎮座する。元々の祭神は山崎神・酒解神で、出自は不明であるが、橋氏の先祖神であると言われている。

#### 神輿庫 重要文化財

本殿の手前に建つ神輿庫は鎌倉時代の建築で、我が国で現存する最古の「校倉造」(あぜくらづくり)の建物です。

校倉は切妻造り本瓦葺きで、構造は分厚い角材を



組み上げた形のもので、非常に珍しい建物です。

#### 天王山山頂

天王山には南北朝時代のころから城(砦)が築かれていたとされています。城跡として残っているのは羽柴秀吉が築いた山崎(財寺城)のものと考えられています。

天正十年(1582)6月の山崎合戦で明智光秀を破った秀吉は織田信長の後継者としての存在を天下に知らしめるため、京都の喉元にあたる天王山に城を構え、自らの拠点にしました。その後、秀吉はファイバルの柴田勝家を賤ヶ岳で倒したのちに大坂城築城を始め、天正12年(1584)には、この城は戦に使われることなく取り壊されました。

#### 観音寺

観音寺は、通称山崎聖天と呼ばれる古寺。山号の妙音山は地中から現れた薬師如来石像に「妙音山寛平法皇勅建地(そつけんち)」と彫ってあったことになむ。観音寺の表参道から仁王門への石段は長い。

観光寺院でないで、境内は静か。紅葉がきれいで大きな銀杏の木が有ります。駒札説明によると、平安

時代の昌泰2年(891)に寛平法皇(宇多天皇)が護国寺として創建されたのが始まり。その後、衰退したが、江戸時代初期の延宝9年(1692)、宮中に入りし摂津国の勝尾寺住僧の木食以空もくじきいく)上人が住友家、三井家など巨大家の援助を得て、聖徳太子の作と伝えられる十一面千手観世音菩薩を本尊とし中興開山された。以降、歓喜大(かんぎてん)を祀り、霊元、東山、中御門天皇の厚い帰依と商売繁盛・家運隆昌を願う住友家、鴻池家、三井家などの信仰や、京都、堺など商人の参詣を得て大いに発展した。

#### 1月度行事予定

“寺内町として栄えたまち富田”

月 日:平成21年1月22日(木)  
月 集合場所:阪急富田駅南出口 13:00 集合(改札を出て階段上)  
順 路:阪急富田駅 教行寺 本照寺 三輪神社  
その他: 三輪神社では宮司さんにお話をして頂きます。新年親睦会場 阪急富田駅 拜殿で参拝します。

#### 12度行事予定

“保険・衛生・健康を考えるまち:城東町”

月 日:平成20年12月18日(木)  
場 所:高槻市城東町 高槻市保健所 13:30  
阪急高槻市駅 高槻市営バス乗り場 13:00 集合  
路:高槻市駅 城東町 下車 保健所 保健センター  
その他: 一般参加者歓迎  
保健所・保健センターでは係りの方に説明して頂きます